

## 2013年東京都中学校駅伝大会 結果報告

総合成績

参加校 142校

順位 32位 (①54位→②43位→③32位→④27位→⑤32位→⑥32位)

タイム 1:03'41

1区 3000m 真田 明日人 (中3) 区間タイム10'12 区間順位 54位



1区を走らせていただいた真田です。自分は今回が初めての駅伝で、しかも1区ということで、前日からガチガチに緊張していたのですが、笑顔で送り出してくれたチームメイトとサポートしてくれた仲間のおかげで、気持ちよくスタートを切ることができました。しかし、目標としていたタイムには届かず、とても悔しい思いをしています。この悔しい思いをバネに、高校ではより一層頑張っていこうと考えています。

わざわざ応援に来てくださった皆様、サポートしてくれたみんな、本当にありがとうございました。

2区 3004m 高橋 優太 (中3) 区間タイム 10'28 区間順位 40位

2区を走った高橋優太です。今年はキャプテンを任せてもらい、自分で勝手にプレッシャーを感じて今シーズン過ごしてきました。駅伝前も、キャプテンとしてチームを支える走りをしなければならぬ使命感にとらわれ、かなり走りこみました。おそらくそれが仇となり、駅伝1週間前あたりに腰をケガしてしまいました。大事な1週間を棒に振ってしまいました。そんな中、メンバーの人が「一人で頑張らなくてもいいんだよ」と、声をかけてくれました。その時、改めてこれは駅伝なんだと実感しました。

そのこと以来、僕は走れなくても、精神面とかでチームを支えようと、学年を問わず積極的に話しかけ、皆のモチベーションを上げられるように頑張ってきました。

そんな中、駅伝当日を迎えました。僕個人としてはあまりいい記録ではな



く、素直に悔しかったです。でも、まだこれは駅伝で、僕だけが走っているのではないということを教えてくれたメンバーが走っているの、落ち込んでいないと自分に言い聞かせて、他のメンバーを全力で応援しました。

結果としては32位でした。来年の世代の為に、もっといい順位で帰ってきたかったので、今シーズンのキャプテンとして申し訳なさで一杯です。でも、改めて駅伝の素晴らしさを感じられた日になりました。

最後に、応援して下さった皆様、サポートしてくれた皆、本当にありがとうございました。

3区 3004m 津島 孝祐 (中3) 区間タイム 10'28 区間順位 20位



この度、第66回東京都中学校駅伝競走大会において、3区を走らせてもらった津島孝祐です。陸上部の中長距離ブロック全体として目標となっている駅伝のメンバーに選ばれた時は、素直に嬉しかったです。同時にたすきをつなぐことの重さを知りました。駅伝当日は、たすきはちゃんとつなぐことができましたが、タイムとしてはベストに及ばず、他の人の足を引っ張る形となってしまいました。

最後に、駅伝当日まで中長距離ブロックを支えてくださった部員と先生方、本当にありがとうございました。

4区 3004m 木村 誠之 (中2) 区間タイム 10'27 区間順位 17位

4区を走った2年の木村です。僕は今回、チームで唯一の2年でした。3年生の先輩たちはこの駅伝が終わったら高校の練習になるので、この駅伝に賭ける思いに、最初は差がありました。でも、先輩の練習の様子を見たり、いろいろな話をしているうちに、自分が、先輩が5人しかいないから単なる穴埋めという考え方はやめ、先輩とできるだけ対等に走れるよう、練習してきました。

そんな中で本番を迎えました。初めて6人で1つの「チーム」として走るの、今までの試合では感じたことのないような、すごい責任感を感じました。この責任感や、皆の応援もあって、3000mの自己ベストは更新できましたが、結果としてチームは32位、合計タイムも昨年を下回ってしまいました。今回の目標は、少なくとも昨年以上回るというものだったので、とても悔しか



ったです。更に終わった後、先輩が泣いているのを見て、改めて、先輩がこの駅伝にける思いは自分とは比にならない、と感じ、自分がそんな強い思いに応えた走りをできてはいなかったかもしれない、とも思いました。

今回の駅伝は、以後やる駅伝のとても良い経験になりました。そして、来年の駅伝はこの経験を生かして、今年の順位を上回りたいです。

応援して下さいました皆さん、本当に励みになりました！応援ありがとうございました！

5区 3004m 高橋 英人 (中3) 区間タイム 11'22 区間順位 57位



5区の高橋英人です。この都駅伝は、中1の時から出れるようになりたいと、目標にしていた大会なので、走ることが決まった時は、とても嬉しかったです。しかし、実際にタスキを受け取ると、タスキの重さ、重圧を感じました。自分は万全の状態で臨みましたが、自分のベストタイムより程遠く、散々な結果で、チームに迷惑をかけてしまいました。最後に、応援に来てくださった皆様、本当にありがとうございました。

6区 3004m 和泉 大雅 (中3) 区間タイム 10'44 区間順位 45位

駅伝から時間が経てば経つほど、自分の中の今回の駅伝に想像が混じり、違う意味で美化されてモヤモヤしたモノになっていくのが怖いです。

このメンバーで走った今回の駅伝は僕にとって最高の思い出になりました。

振り返ってみると1年生の頃、中長距離は中1が3人しかおらず、とても上位を狙えるような学年ではありませんでした。しかし、徐々にメンバーも増え、優秀な後輩も入って来てくれました。「俺ら駅伝で結構上位狙えるんじゃないか！」いつの間にか、それが僕らの口癖になりました。

そんな矢先、僕が怪我をしてしまいました。駅伝選考直前の事でした。ろくに練習も出来ずに、駅伝まで時間が刻一刻と迫って来ていました。悔しかったですし、すごく焦りました。次第に皆の練習を見ることさえも嫌になっていま



した。皆と自分との間に大きな差ができていくのを見せつけられているようで、怖かったからです。

そんな中、メンバー発表で先生は僕を「アンカー」に起用してくれました。「ずっと前から、和泉はアンカーに決めていたから」という先生の言葉は最後まで僕の支えになっていました。

11/3の高校駅伝での先輩たちの走りも僕の背中を押してくれ、最高のコンディションで当日を迎えることができました。優太は試合の前日に僕らに何度も「持っている力を全部出し切って欲しい。歩けなくなる位まで走ってほしい」と言っていました。

当日。走っている途中、色々な人たちが僕の名前を呼んでくれました。あんな体験は初めてでした。自分を支えてくれている人の数にビックリしました。でも最後は泣いてしまいました。絶対に泣かないと思っていたし、決めていたのに。出せる力は全て出し切れたはずなのに、止まりませんでした。

今回勝つと思われていた東山中学校がまさかの2位になりました。2位で悔しんでいる学校もあれば、自分たちのような学校もある。そう思うと、順位は問題ではない。メンバー1人1人がどれだけ襷の重みを感じて、出せるだけの走りが出来たかどうか問題なんだなと感じました。そういう意味では僕らは最高のチームだったなと今になって改めて感じます。最後に、僕らの為に応援に駆けつけて下さった方々、先輩、短距離のメンバー、先生方、試合後なのに応援してくれた最高の仲間たち、本当にありがとうございました。